

横山幸次

区政報告
ニュース

453

2012年1月29日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp

町屋相談室

荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログをご覧ください。
「横山幸次」で検索して下さい。

区の検討報告(導入可能性調査)… コミュニティバスのネットワークを展望



高齢者・障害者の移動制約、新たな交通需要など検討、「交通不便地域」の多い町屋地域から導入開始へ

今回のコミュニティバス新規導入にあたって区は、全域の区民とコミュニティ利用者へのアンケートを行いました。

そこでは、丁目毎の高齢化率・障害者比率・人口増減や福祉・商業施設分布、鉄道駅から300m以上の地域など興味深い数字が出ています(下図参照)。

その上で、年齢毎の利用目的や移動目的地などを分析しています。その結果として町屋尾久、日暮里の3ルートに絞り込んでルート案(左下図)を決定。「採算性」から町屋ル

区は、事業者の自主運行方式で採算がとれなければ新規ルートを導入しない方針です。しかし誰もが自由に移動し社会生活を送ることが人問らしいくらしの保障です。「採算性」だけでなく、議論が必要です。

比較的高齢者、障害者比率が高い

網部分は、新設、ルート改良の要望が多い
上位20%の町丁目



町屋ルートに続いて、尾久ルート(熊野前、荒川遊園、尾久駅、田端駅、熊野前)と日暮里ルート(日暮里駅、南千住駅、区役所、新三河島駅日暮里駅)が導入検討。



裏面 震災対策、木造住宅耐震化事業など

定例法律相談

2月 6日(月)
午後6時~8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。

生活相談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

町屋一丁目「児童福祉施設」…？
実は、高齢者施設ですが、法律上表示は「児童」？

まちの話題あれこれ

先日、ある方から「この近くに児童福祉施設ができるの？」という質問をいただきました。しかしその近くでいうと、五中の手前にある信号角の三菱重工の子会社リョーインで建設中の高齢者施設しか思い当たりませんでした。そこで現場を確認すると確かに建築計画のお知らせに「児童福祉施設」となっていました。この場所には、三菱系が建設し、(株)ココチケアが運営する都市型軽費老人ホーム20床、グループホーム3ユニット27人、シヨートステイ20床の高齢者施設が建設されているのです。さっそく区に確認したところ、

建築基準法第19条で児童から高齢者、障害者まで全ての施設を「児童福祉施設等」と表示することになっていそうです。しかしそこに表示には、「等」の字はありません。法律上仕方ないにしても、何が出来るのかはつきりわかっていないように表示することも大事ではないでしょうか。

横山幸次

物の名称	(仮称)町屋複合福祉施設 新設	
敷地の地名地番	東京都荒川区町屋1丁目179-4	
用途	児童福祉施設	敷地
建築面積	631.55㎡	延べ
構造	鉄骨造	基礎
階数	地上4階/地下0階	高



高齢者施設の建設現場(町屋1)



静岡県「TOUKAI(東海・倒壊)-0」を視察 被害の抑止にこそ人も金も...



視察で質疑する横山区議

最近、「4年以内に70%の確率 M7級の首都直下地震」の報道(上)が話題になっています。より切迫したということなのでしょうか。しかし1%~70%は、確率的な問題であり、いま起こってもおかしくありません。

1月20日、区議会建設環境委員会は、日帰りで静岡県の「TOUKAI(東海・倒壊)ゼロ」プロジェクトを視察しました。
最も切迫している東海地震の震源域となる静岡県が「住宅倒壊を防ぐことが住民の命を守る」という阪神淡路大震災の教訓から「木造住宅耐震化」に取り組んでいる事業です。
補助金額などは、荒川区と比べて決して多額ではありませんが、推進体制、推進策でも戸別訪問、ダイレクトメールを行うなど、こ

の10年間で耐震診断65,303戸、木造住宅補強計画16,637戸、同耐震補強工事助成14,706戸の実績を上げています。
東京都や我が荒川区はどうでしょうか。制度はあっても木造住宅耐震化は進んでいません。相変わらず大型開発と道路建設が中心です、これで首都直下地震から住民の命が守れるでしょうか。災害が起こった後にお金をつぎ込むのではなく、いまから住宅耐震化のために思い切った予算と体制に踏み切るべきです。

- 静岡県の建物耐震化推進策(市町と連携して)**
- 公的支援制度の拡充
 - 工事費の透明化と安価な工法の普及(事例集、新工法)
 - きめ細かい広報(パンフ、広報誌、HP、工事幕など)
 - 直接働きかける(ダイレクトメール、戸別訪問、キャンペーン)
 - 身近な相談・専門家のアドバイス体制の強化
 - 多彩な防災教育(出前講座、ワークショップ)

東京都の木造住宅耐震助成実績は静岡県の25分の1

〇木造住宅耐震化改修助成の実績 (2008年~2010年の3カ年実績)

	助成戸数(戸)	助成総額	備考
東京都	232	4352万円	
千葉県	437	1539万円	
埼玉県			県は制度なし
神奈川県	1237	2億2067万円	
静岡県	5828	19億7000万円	
愛知県	2347	8億7529万円	
大阪府	845	8826万円	戸建限定でない
兵庫県	1760	8億5401万円	

簡易な耐震補強でも命と財産を守れます

下図は、静岡県のホームページで紹介している工法です。ぜひ区などに相談することをおすすめします。



お知らせ...

グリーンパール那須...引き続きビューホテル区からの直通バス運行も検討...

区民保養所であるグリーンパール那須は、「普通財産の貸し出し」という方式でビューホテルが運営してきました。今回期限が切れたため、選定委員会が開かれ応募した3事業者から引き続き日本ビューホテル事業(株)に決まりました。ビューホテルの企画案には「12月から3月、お客さんが少ない次期に一定人数集まれば、直通バスの運行」という考えが示されています。かつて直通バスがありましたが、赤字のために廃止になりました。グリーンパールは、交通の便が悪く集客への影響も大きいものがあります。共産党区議が、「シーズンも含め週1回程度の運行」を求めたなかで区は「検討したい」と答弁しました。



乾燥した冬場の火災...生活のすみずみに「火の用心」

尾久消防所管内の火災は、以下の通りです。若干件数は増えていますが死者は、ゼロです。冬場は、暖房器具による火災が多く発生します。生活もすみずみに「火の用心」を!



尾久消防署管内の災害救急状況

種別	2011年	2012年
火災件数	29件	31件
焼損床面積	63㎡	82㎡
死者	0名	0名
傷者	13名	7名
救急件数	7013件	6,787件
救護人員	6,269名	6,076名
PA連携	1,045件	1,094件